

曆應貳年二月日

〔常陸紀行〕久慈郡北部を依上保内の郷といひて、昔時は二十四ヶ村なりしが、今は四十二ヶ村となれり、埜村に寄上明神あり、今寄上の古名此に存せるのみなり、佐竹興義の二男依上三郎宗義なるもの見えたり、蓋し此地昔時依上氏の食邑せしにや、土俗いふ、大子と大津と同村にして、今は兩村となる、又上澤と高岡と同村なりしと云へり、下谷田中有田冥賀も同村なるよし、谷田は谷端ともいひしとぞ、下野宮近津社保内郷の總鎮守にして、二十四ヶ村へ年兩度神輿出御し、大祭禮あり、往古の舊例ありて二十四ヶ村に出御し來れり、今を以てむかしを知るに足れり、

藩封

〔慶應元年武鑑〕水戸中納言慶篤卿様 三拾五万石 御在城常陸茨木郡水戸 江戸ヨリ三十里

當國者佐竹左中將義宣居慶長七、武田万代君同八、徳川常陸介頼宣卿、紀州和歌山ヨリ移、同十四水戸中納言頼房卿以後代々被領之、
土屋采女正寅直 九万五千石 居城常州新治郡土浦 江戸ヨリ十八里

慶長六、松平伊豆守信一、同安房守信吉、元和三、西尾丹後守忠長、同丹後守忠照、慶安二、朽木民部少輔植綱、同伊與守秀植、寛文九、土屋但馬守數直、同相模守政直、延寶元、松平因幡守信興、貞享十五、ヨリ再土屋相模守、
政直以後領之、

溜岡次 四品 元治元子十一月叙
牧野越中守貞明 八万石 居城常州茨城郡笠間 江戸ヨリ土浦通二十九里、古河通三十一里、

慶長六、松平周防守康重、同七、松平丹後守重貞、元和二、永井右近大夫直勝、同八、淺野采女正長、同内匠頭長直、正保二、井上河内守正利、同中務少輔正任、元祿七、本庄因幡守宗資、同安藝守宗俊、遠州濱松エ替、元祿十五、井上河内守正岑、同河内守正之、同河内守正賢、延享四、ヨリ牧野備後守貞通、以後領之、

〔慶應元年武鑑〕松平播磨守頼繩 二万石 御在所常州新治郡府中 江戸ヨリ二十里

元祿年中 雁問朝散大夫 石川若狹守總管 二万石 居城常州眞壁郡下館 江戸ヨリ古河通 二十二里半

城主水谷左京大夫勝俊、同伊勢守勝隆、寛永十八、松平左京大夫頼重、同十九、御番城城附三千石、山彈正忠利、澄同兵部少輔利須、元祿十五、井上大和守正岑、同十六、黒田豊前守直邦、享保十七、石川近江守總茂、

以後領之、